

会 議 録

1 会議名

平成26年度 第1回上越市博物館協議会

2 議 事（公開・非公開の別）

(1) 平成26年度事業実施状況について

① 上越市立水族博物館（公開）

② 上越市立総合博物館（公開）

(2) 平成27年度事業計画（案）について

① 上越市立水族博物館（非公開）

② 上越市立総合博物館（非公開）

3 報告事項（公開・非公開の別）

(1) 水族博物館と総合博物館の今後の報告について

① 上越市立水族博物館の整備状況について（公開）

② 上越市立総合博物館の大規模改修(案)について（非公開）

(2) その他

4 開催日時

平成27年1月27日（火）午後1時30分から

5 開催場所

水族博物館 会議室

6 傍聴人の数

1人

7 非公開の理由

議事(2)及び報告事項(1)-②については、会議公開制度の条例第7条第4号「意思形成過程情報」に該当するため、非公開。

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：品川久美子、坪田 剛、川村和行、清沢 聡、青山増雄、細谷芳子
仲田紀夫、稲葉麻利子
- ・事務局：文化行政課 中西課長
総合博物館 中嶋館長、阿部副館長、花岡係長、池田係長
水族博物館 中村館長、横手副館長、馬場係長、後藤係長
企画政策課(新水族館整備室) 若山副室長、新井係長

9 発言の内容

【議事】

(1) 平成26年度事業実施状況について

① 上越市立水族博物館（公開）

事務局が別紙資料 P6～P10 に基づき説明。

② 上越市立総合博物館（公開）

事務局が別紙資料 P11～P16 に基づき説明。

川村委員：高田開府 400 年記念特別展の目標入館者 2 万人に対し、実際の入館者数が約半分だった。10,498 人は少ない数字とは思わないが、結果をどう

う

とらえているか。また、費用対効果のマネジメントは出来ているか。

中嶋館長：目標人数は、今までの経緯や内容を等踏まえ、期待感を込め 2 万人に設定した。400 年の節目なので、他の展覧会に比べ費用を多くかけ、入館料も多く見込み、少しでも多くの方々から入館いただくよう PR 等に努めたが、1 万人を少し上回る程度の結果となり、収入も予定より少なかった。今後しっかりとマネジメントしていく。

【報告事項】

(1) 水族博物館と総合博物館の今後の方向について

① 上越市立水族博物館の整備状況について（公開）

事務局が別紙資料 P29～P32 に基づき説明。

(2) その他

・小林古径記念美術館事業について

資料の配布をもって報告

・水族博物館のこれまでとこれから（総括）

中村館長 P2～P3 説明

川村委員：平成 28 年度事業から、指定管理者が事業計画を立てるのか。

中村館長：平成 27 年度は先に示した内容となり、新水族館オープンまでこれに沿った事業計画を指定管理者が立てます。

川村委員：新水族館のオープンとスケジュールは。

若山副室長：来年度中に着工、実施設計や工事の進捗にもよるが、平成 29 年度中にオープンしたい。

川村委員：水族館や博物館は学芸員が一番重要である。指定管理者との契約期間は。

若山副室長：契約期間は 17 年間である。新しい館長も学芸員と聞いており、民間のノウハウで盛り上げてもらいたい。

青山委員：議論する場の協議会の在り方をどのように考えているか。

阿部副館長：4 月で改選となるが、水族館博物館と総合博物館が同じ協議会のため発言しにくいという意見をいただいている。事務局としては部会制を考えている。

川村委員：この協議会は条例で設置されているが、条例を改正するのか。

阿部副館長：来年度条例改正も考えたが、平成 29 年度新水族博物館オープン、平成 30 年度総合博物館リニューアルオープンという計画の中で、協議会の在り方についてまだ議論が尽くされていないため、それまでに方向性を出していきたい。

青山委員:P35の展示で文化勲章受章者など、人物の展示はどのように行うか。

花岡係長:展示スペースは限られているため、どのような展示を中心に、どのような事を子供たちに学んでもらいたいのか、どのようなことを将来に伝えなければならないのかなど、ご意見をいただき議論していきたい。

10 問合せ先

上越市立総合博物館

TEL : 025-524-3120

E-mail : musum@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。